

# 決算説明資料 2023年3月期第4四半期

2023年5月15日



# 1-①. 連結PL <当期・前期>

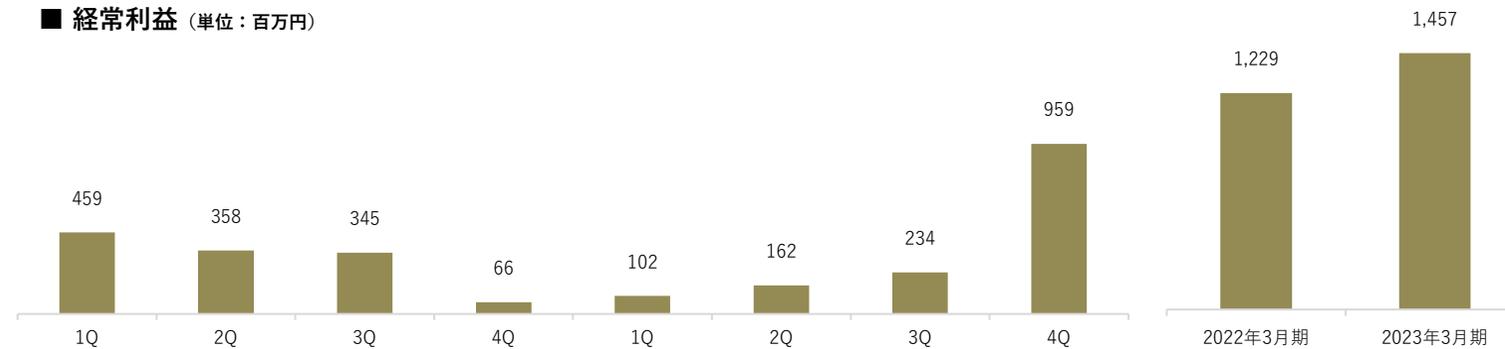
## ■ 営業収益 連結消去後 (単位: 百万円) (外部顧客に対するもの)

四半期推移  
(四半期会計期間毎の推移)



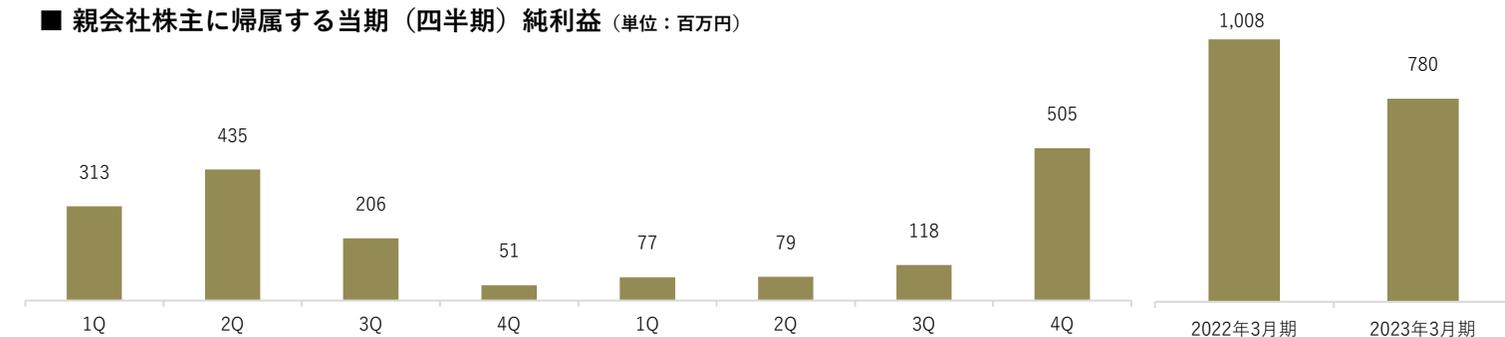
営業収益  
**11.4%増**  
(前年同期比)

## ■ 経常利益 (単位: 百万円)



経常利益  
**18.6%増**  
(前年同期比)

## ■ 親会社株主に帰属する当期 (四半期) 純利益 (単位: 百万円)



親会社株主利益  
**22.5%減**  
(前年同期比)



## 2. 連結BS

- ▶ 総資産は5,091百万円増加
  - 販売用不動産+2,108百万円、預託金+2,355百万円、現預金△1,113百万円
- ▶ 負債は5,006百万円増加
  - 信用取引借入金+1,806百万円、預り金+1,500百万円、短期借入金+1,468百万円、長期借入金△899百万円、ノンリコース長期借入金△209百万円
- ▶ 純資産は84百万円増加
  - 利益剰余金169百万円、非支配株主持分△128百万円

	2022年 3月31日	2023年 3月31日	増減
流動資産	57,401	62,191	+4,790
現預金	13,359	12,246	△1,113
預託金	13,182	15,537	+2,355
販売用不動産	25,100	27,209	+2,108
固定資産	6,782	7,083	+301
のれん	1,345	1,129	△215
投資有価証券	3,170	3,850	+679
総資産	64,183	69,275	+5,091

	2022年 3月31日	2023年 3月31日	増減
流動負債	38,428	44,441	+6,013
預り金	12,631	14,131	+1,500
短期社債	7,000	7,000	0
短期借入金*	13,404	14,871	+1,468
固定負債	10,959	9,949	△1,009
純資産	14,772	14,857	+84
株主資本	14,077	14,287	+210
負債・純資産	64,183	69,275	+5,091

\* 短期借入金と1年内返済予定の長期借入金の合計

### 3-①. 証券セグメント <あかつき証券・ジャパンウェルスアドバイザーズ・トレードサイエンス>

▶ 2023年3月末の預り資産残高は4,001億円、うちIFA部門は2,158億円



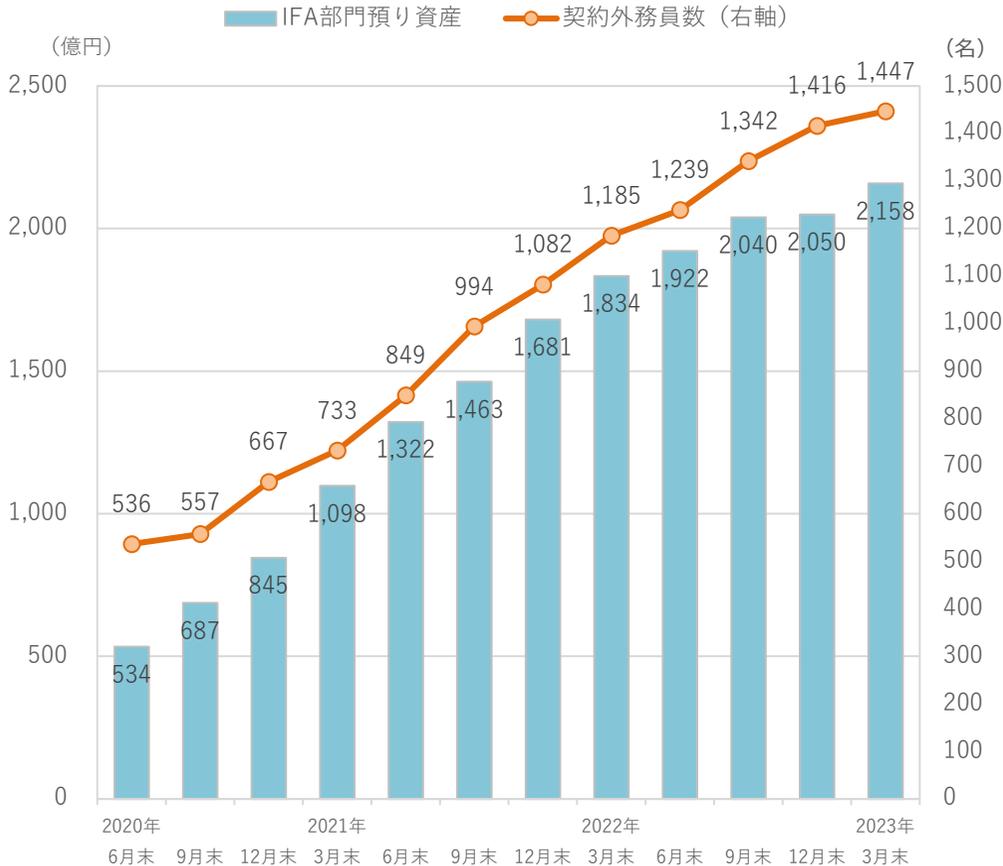
注) 預り資産残高は、あかつき証券の預り資産残高と、ジャパンウェルスアドバイザーズの提携金融機関における管理資産残高の合計となっています。

IFA法人であるジャパンウェルスアドバイザーズの預り資産の一部(351億円)をリテール部門に移管したため、内訳数値について遡及修正しております。

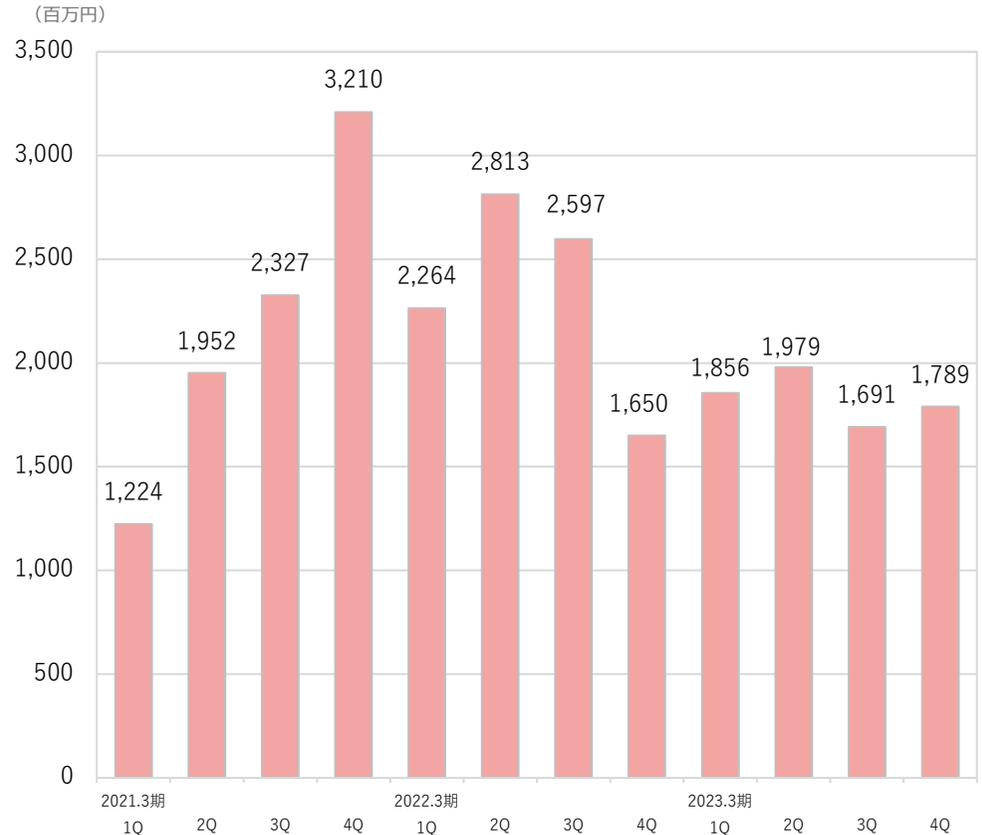
### 3-①. 証券セグメント <あかつき証券・ジャパンウェルスアドバイザーズ・トレードサイエンス>

- ▶ IFA部門の預り資産は2,158億円、契約仲介業者外務員数は1,447人に拡大
- ▶ IFA部門の営業収益は当四半期（2023年1～3月）に1,789百万円

IFA部門の預り資産残高・契約外務員数の推移



IFA部門の営業収益の推移



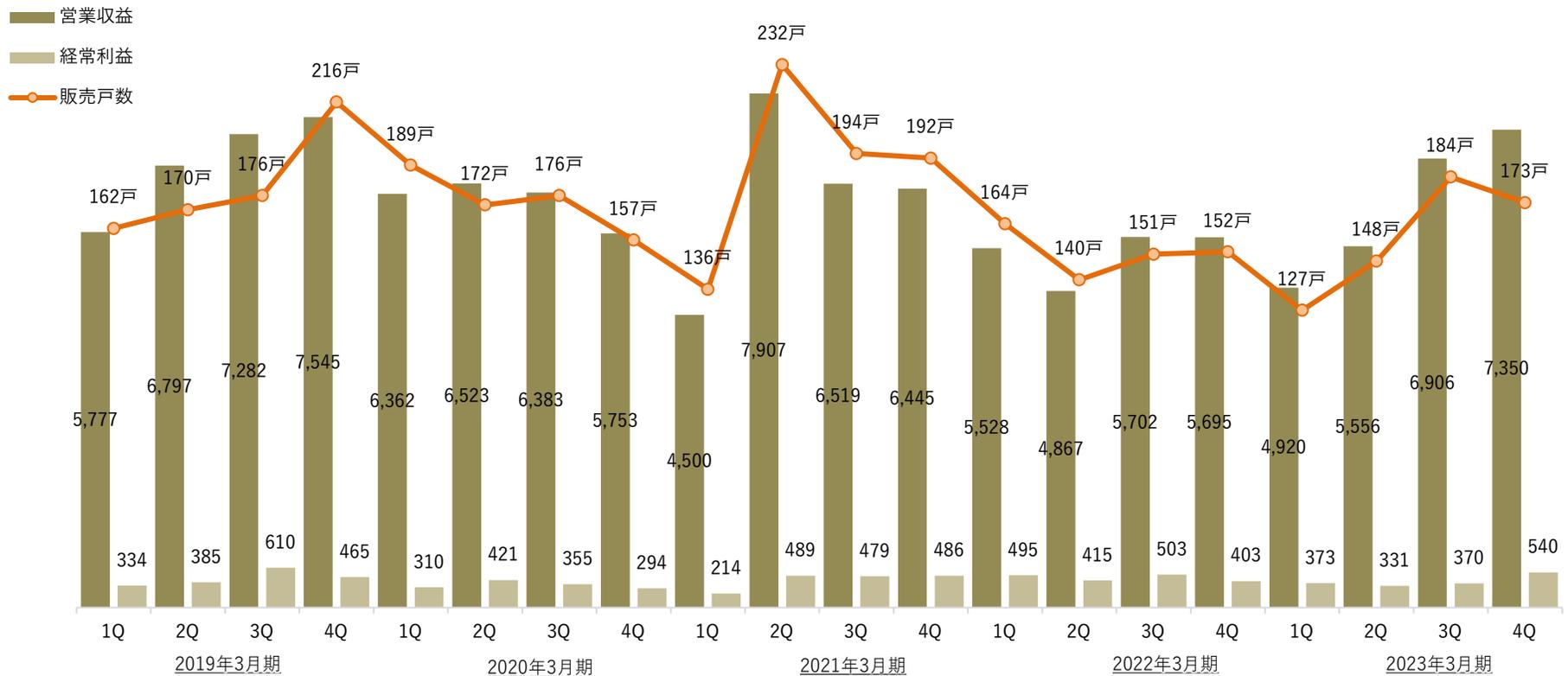
注) 預り資産残高は、あかつき証券の預り資産残高と、ジャパンウェルスアドバイザーズの提携金融機関における管理資産残高の合計となっています。

IFA法人であるジャパンウェルスアドバイザーズの預り資産の一部（351億円）をリテール部門に移管したため、IFA部門の預り資産残高と営業収益について遡及修正しております。

### 3-②. 不動産セグメント <マイプレイス>

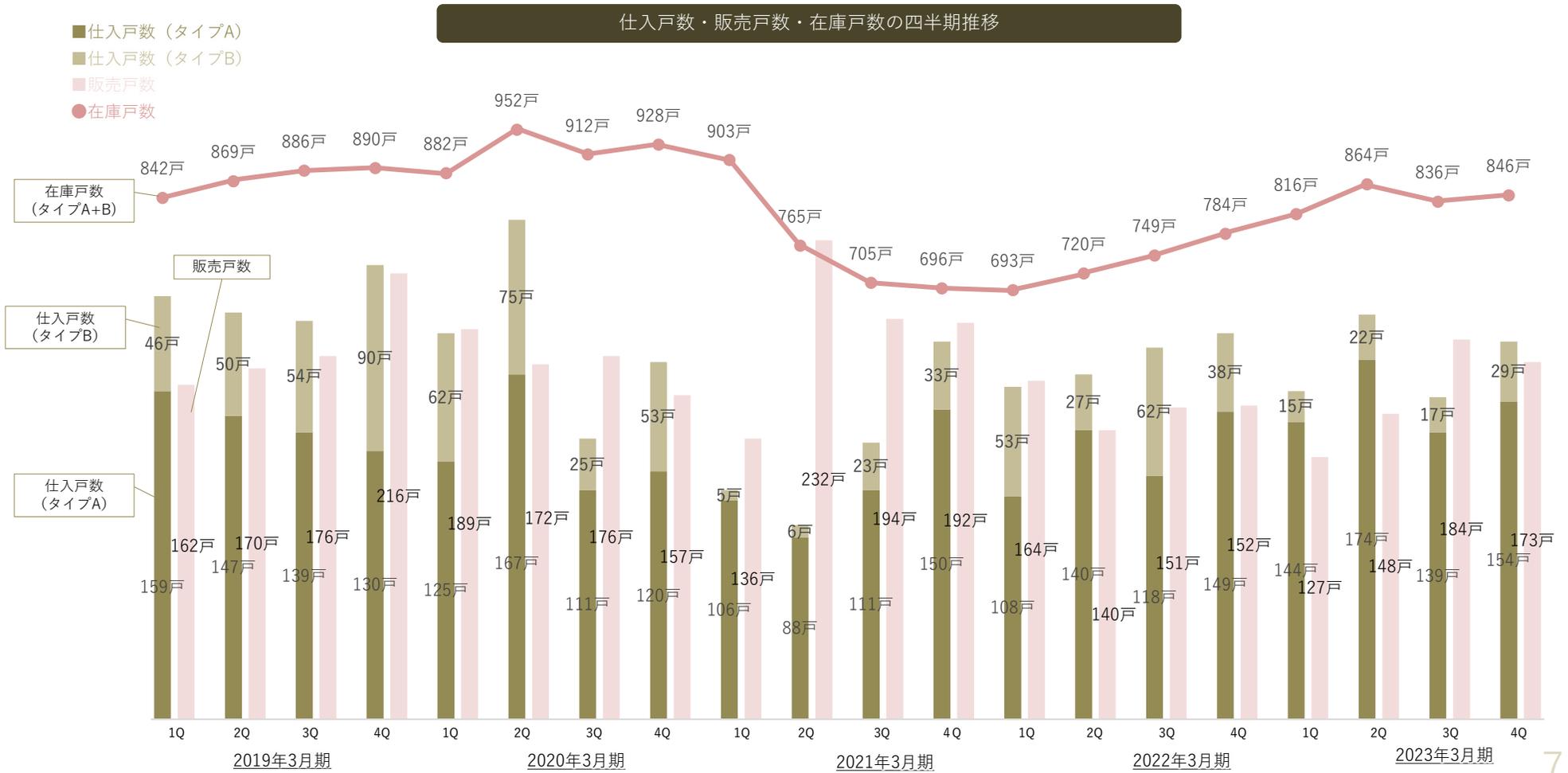
▶ 当第4四半期（1月～3月）は営業収益、経常利益が増加

営業収益・経常利益・販売戸数の四半期推移



### 3-②. 不動産セグメント <マイプレイス>

- ▶ 当四半期の仕入戸数は、タイプA 154戸・タイプB 29戸
- ▶ 販売戸数は173戸



### 3-③. 不動産セグメント <EWアセットマネジメント>

- ▶ 5月に熊本PJ①、7月に西宮PJ、8月に京都PJにおける住宅型有料老人ホームが竣工
- ▶ 2月に西宮PJ、京都PJを売却
- ▶ 3月に熊本PJ②に出資



\*1：稼働中施設を取得したため当社グループによる開発は行っていません。

## 4. 2024年3月期業績予想

### (証券関連事業)

足元のIFAビジネスを中心とした資金導入は近年のトレンドが継続する前提のもと、基盤となる預り資産の増加を通じた増益を想定しております。

### (不動産関連事業)

中古マンション買取再販・リノベーション事業では、実需としての中古マンションの販売戸数は増加を見込むものの、戸当たりの利益率についてはコロナ禍以前の水準に低下していく前提のもと、利益は前期と同水準を想定しております。

高齢者施設開発事業では、保有物件の一部売却を想定しております。

	営業収益	営業利益	経常利益	税金等調整前 当期純利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
<b>2024年3月期 通期予想 (百万円)</b>	<b>42,000</b>	<b>2,300</b>	<b>2,300</b>	<b>2,300</b>	<b>1,600</b>
2023年3月期 実績 (百万円)	39,336	1,803	1,457	1,470	780
増減率 (%)	6.8	27.6	57.9	56.5	105.1

注) 税金等調整前当期純利益は、連結業績予想として開示していません。本決算説明資料においては参考値として記載しています。

## 5. 配当予想

- ▶ 2024年3月期は通期で 19.0円（中間配当9.5円、期末配当9.5円）を予定します。
- ▶ 2019年3月期より、財務の安定と事業資金の確保に支障をきたさない限りにおいて、DOE（純資産配当率）は少なくとも4%以上の水準を維持し、ROE（自己資本利益率）が4%を上回る場合には、その部分の利益についても株主還元の原因とし、その一部を追加の株主還元に充当する方針です。

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 予想
中間配当	10.0円	9.0円	8.5円	9.5円	9.5円	<b>9.5円</b>
期末配当	8.0円	11.0円	9.5円	8.5円	9.5円	<b>9.5円</b>
年間配当	18.0円	20.0円	18.0円	18.0円	19.0円	<b>19.0円</b>
DOE (%)	4.0%	4.8%	4.1%	4.0%	4.1%	<b>4.0%</b>
ROE (%)	8.9%	11.0%	10.5%	7.2%	5.5%	<b>10.0%</b>
配当性向 (%)	45.2%	43.1%	39.0%	55.0%	74.7%	<b>36.6%</b>

注) 2024年3月期の配当・DOE・ROE・配当性向はいずれも現時点での予想値を記載しており、業況により実際は異なる可能性があります  
DOEは1株当たり年間配当を期首と期末の1株当たり連結純資産の平均値で除して算定  
ROEは親会社株主利益を期首と期末の自己資本の平均値で除して算定  
配当性向は1株当たり年間配当を1株当たり当期純利益で除して算定

#### 免責事項

本資料に記載されている予想・見通しは、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

本資料に記載されたデータには、当社が信頼に足りかつ正確であると判断した公開情報の引用が含まれておりますが、当社がその内容の正確性・確実性を保証するものではありません。

本資料は、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資に際しては、投資家ご自身のご判断において行われますようお願いいたします。